

質問書に対する回答
 首都圏中央連絡自動車道 高谷川高架橋(下部工)北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
8	設計図	図面番号233/277 構造物掘削 鋼矢板転用計画 表の備考に P6からP13に32枚転用とあります。 P13の搬入枚数の項目は $100-68=32$ 枚だと考えます。 P1からP13へ30枚の転用は枚数が合わないと考えますが、ご教授願います。	9月29日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 設計図 233/277について、誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。
9	設計図	図面番号233/277 構造物掘削 鋼矢板転用計画 表の備考に P7からP11に94枚転用とあります。 P11の搬入枚数の項目は $94-0=94$ 枚だと考えます。 P16からP11へ94枚の転用は枚数が合わないと考えますが、ご教授願います。	9月29日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 設計図 233/277について、誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。
11	設計図	図面番号246/277 置換工図(その3) 下部の表 置換工の特殊掘削区分⑬は特殊掘削A2;構造物掘削まで存置する部分があるブロックと記載があります。 置換工で使用する鋼矢板はⅢ型。構造物掘削で使用する鋼矢板はⅣ型になっています。 置換工で使用了鋼矢板の、存置する位置および枚数をご教示願います。	9月29日付け質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 金抜設計書番号20・21及び設計図 5/277・246/277について、誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。